

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

郡山市教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証してその改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査内容

① 教科に関する調査：()内は問題数

- 小学校：国語(全14問)、算数(全16問)
 - 中学校：国語(全15問)、数学(全15問)、英語(全17問)
- ※オンラインで英語「話すこと」調査を実施

② 質問紙調査

- 児童生徒質問紙・・・児童生徒に対する調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)
- 学校質問紙・・・学校に対する調査(指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査)

(3) 調査対象

- ① 小学校(義務教育学校前期課程を含む)：51校(6年生 2,473名)
- ② 中学校(義務教育学校後期課程を含む)：27校(3年生 2,458名)

2 調査結果の公表

- 各教科における平均正答率(各教科の問題数に対する正答数の割合)
- 各教科における結果と課題及び改善策
- 質問紙調査の結果と改善策(本市の特徴を表す項目を抜粋)

学校においては、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の育成のほか、豊かな心や健やかな体の育成にも取り組んでおり、大きな成果をあげているところです。本調査の結果は、特定の教科の一部分であり、学校における教育活動の一側面を表したものではありませんが、上記調査目的をふまえ、これからも保護者や市民の皆様と連携し本市学校教育の一層の充実に努めてまいります。

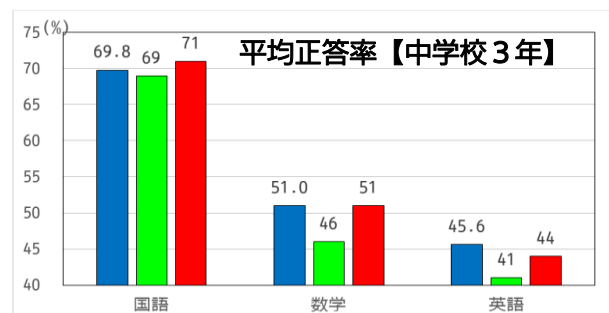
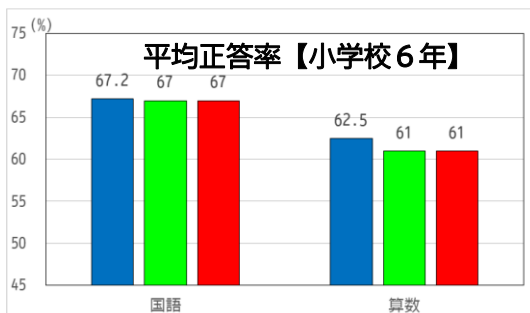
3 調査結果

(1) 結果概要

今回の調査における郡山市児童生徒の平均正答率は、以下のような結果となりました。

- 小学校6年 … 国語が全国平均と同程度で、算数は全国平均をやや下回っています。
- 中学校3年 … 国語が全国平均を上回っており、数学は全国平均と同程度です。英語は全国平均をやや下回っています。

(2) 各教科における平均正答率(各教科の問題数に対する正答数の割合)



教科	国語	算数
問題数	14	16
全国	67.2%	62.5%
福島県	67%	61%
郡山市	67%	61%

教科	国語	数学	英語
問題数	15	15	17
全国	69.8%	51.0%	45.6%
福島県	69%	46%	41%
郡山市	71%	51%	44%

(3) 各教科における結果と課題及び改善策

① 本市における各教科の結果と課題、改善策

【小学校6年】

	結果	課題	改善策
国語	<p>平均正答率は、全国平均と同程度です。</p> <p>「話すこと・聞くこと」については、全国平均を2.9ポイント上回っています。</p> <p>「情報の扱い方に関する事項」については1.8ポイント、「書くこと」については1.3ポイント、「読むこと」については0.4ポイント全国平均を下回っています。</p>	<p>「情報の扱い方に関する事項」については、原因と結果など情報と情報との関係について理解することに課題があります。</p> <p>「書くこと」については、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があります。</p> <p>「読むこと」については、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題があります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>*問題番号・1 一</p> <p> ・1 二</p> <p> ・2 二</p> </div>	<p>説明的な文章の学習では、事象がどのような原因によって起こったかを把握させ、さらに原因と結果を分けて捉えることができるように指導します。</p> <p>また、図表やグラフが教材文のどの部分と直接結び付いているのかを児童一人一人が明確に捉えられるように指導します。</p> <p>他にも、文章の中から、目的に応じて友達と比較・検討しながら必要な情報を取捨選択したり、再構成したりする課題や場を多く設定します。</p> <p>併せて、各単元で「〇〇について触れること」「〇〇という言葉を使うこと」など、条件に合わせて書く場面を設けます。</p>
算数	<p>平均正答率は、全国平均をやや下回っています。</p> <p>「データの活用」の領域は全国平均を0.8ポイント上回っています。</p> <p>「図形」の領域は2.1ポイント、「変化と関係」の領域は1.4ポイント、「数と計算」の領域は1.1ポイント全国平均を下回っています。</p>	<p>「図形」の領域では、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題があります。</p> <p>「変化と関係」の領域では、伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述することに課題があります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>*問題番号・2 (4)</p> <p> ・2 (3)</p> <p> ・1 (3)</p> </div>	<p>基本的な図形の概念や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察する活動を多く設定します。特に三角形や平行四辺形において、底辺や高さが等しい場合、形が違っていても面積が等しくなることを実際に確かめさせ、説明し合う活動を設定します。</p> <p>また、日常生活の場面の数量に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について、変化や対応の規則性などの関係を見付け、言葉、図、数、表、式、グラフを用いて表し、表した結果を、友達と比較・検討したり、一つの数量を求めたりする活動を多く設定します。</p>

【中学校3年】

	結 果	課 題	改 善 策
国語	<p>平均正答率は、全国平均をやや上回っています。</p> <p>「話すこと・聞くこと」の領域は1.0ポイント、「書くこと」の領域は1.6ポイント、「読むこと」の領域は0.6ポイント全国平均を上回っています。</p>	<p>「読むこと」については、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることと、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることに課題があります。</p> <p>「我が国の言語文化に関する事項」については、現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることによって課題があります。</p>	<p>複数の文章や考えを比較しながら読む活動を重視し、文章の読み取りについては、根拠をもとにした自分の考えと友達の考えを吟味・検討しながら、観点を明確にし、叙述を根拠に判断して考えることを徹底します。</p> <p>また、文章の内容を理解するだけでなく、自分の知識や結論と結び付けて表現する活動を多く設定します。</p> <p>古典の学習においては、分かりやすい現代語訳や古典について解説した文章などを適切に取り上げ、それぞれの時代と現代の言葉の見方や考え方を比較できるように指導します。</p>
数学	<p>平均正答率は、全国平均と同程度です。</p> <p>「数と式」の領域は0.5ポイント、「関数」の領域は0.8ポイント全国平均を上回っています。</p> <p>「図形」の領域は1.0ポイント、「データの活用」の領域は2.1ポイント全国平均を下回っています。</p> <p>「記述式」の問題形式では1.7ポイント全国平均を上回っています。</p>	<p>「データの活用」の領域では、不確定な事象についてデータを整理し、表やグラフ、箱ひげ図にまとめる場面において、累積度数や四分位範囲の意味の理解に課題があります。</p> <p>「図形」の領域では、図形の性質を考察する場面において、空間における直線や平面の位置関係を捉えることに課題があります。</p>	<p>データに基づいて考察する場面では、度数分布表やヒストグラム、箱ひげ図などを実際に作成し、データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察します。また、数学的な表現を用いて友達と比較・検討する活動を多く設定します。</p> <p>図形の性質を考察する場面では、予想した事柄について、成り立つ理由を筋道立てて考えたり、問題解決の過程を振り返って本質的な条件を見出したりしながら、友達同士で説明し合う活動を多く設定します。</p>
英語	<p>平均正答率は、全国平均をやや下回っています。</p> <p>「聞くこと」の領域は0.9ポイント、「読むこと」の領域は0.1ポイント、「書くこと」の領域は2.7ポイント全国平均を下回っています。</p> <p>「短答式」の問題形式では2.8ポイント、「記述式」の問題形式では2.5ポイント全国平均を下回っています。</p>	<p>「聞くこと」の領域では、情報を正確に聞き取ることに課題があります。</p> <p>「読むこと」の領域では、文と文との関係を正確に読み取ることに課題があります。</p> <p>「書くこと」の領域では、疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くこと、社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことに課題があります。</p>	<p>CAN-DO リストの自校化を図り、生徒が英語を用いて何ができるようになるかを4技能5領域ごとに明確にします。</p> <p>「聞くこと」については、場面や状況についての英語の説明を聞く活動を多く設定するとともに、語学指導外国人の効果的な活用や日本人英語担当教員の英語使用の割合を増やし、必要な情報を聞き取る力の育成を図ります。</p> <p>「書くこと」については、「読むこと」と関連づけ、読み取った内容について自分の考えや理由を書く活動、条件に合わせてまとまりのある文章を書く活動を授業や定期テスト等に位置づけます。</p>

(4) 質問紙調査の結果と改善策

① 児童生徒質問紙

ア 「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計が80%以上、または全国と比べて割合が上回っているなど、成果が見られた主な項目

質問事項	郡山小	全国小	郡山中	全国中
国語の勉強は大切だと思いますか	96.3	94.2	92.4	92.4
算数・数学の勉強は大切だと思いますか	95.5	94.2	87.2	85.0
英語の勉強は大切だと思いますか	92.0	91.3	88.3	88.0
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	96.3	95.1	94.2	93.3
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	80.7	77.4	73.8	69.2
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	93.8	93.0	89.9	88.9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.2	96.9	96.2	95.5
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.8	95.9	94.8	94.6
人が困っているときは、進んで助けていますか	92.7	91.6	90.5	88.1
朝食を毎日食べていますか	93.6	93.9	92.4	91.2
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.2	90.5	93.6	91.3
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.7	81.0	81.4	78.0

イ 「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計が50%以下、または全国と比べて割合が下回っているなど、課題が見られた主な項目

質問事項	郡山小	全国小	郡山中	全国中
自分には、よいところがあると思いますか	82.2	83.5	78.6	80.0
今住んでいる地域の行事に参加していますか	52.7	57.8	26.5	38.0
友達関係に満足していますか	90.0	90.3	88.0	88.7
新聞を読んでいますか	10.9	12.6	7.3	8.1

ウ 分析

【「よさ」が見られたところ】

- 教科の学習が大切だと思っている児童生徒が多く、タブレット端末等のICT機器を活用した学習に前向きな考えをもっている。
- いじめはどんな理由があっても許されないとと思っている児童生徒が多く、人の役に立ちたい、人助けをしたい等、相手を思いやる道徳的心情が育っている。
- 朝食を毎日食べ、決まった時刻に起床・就寝している児童生徒が多く、基本的な生活習慣が身に付いている。

【「課題」が見られたところ】

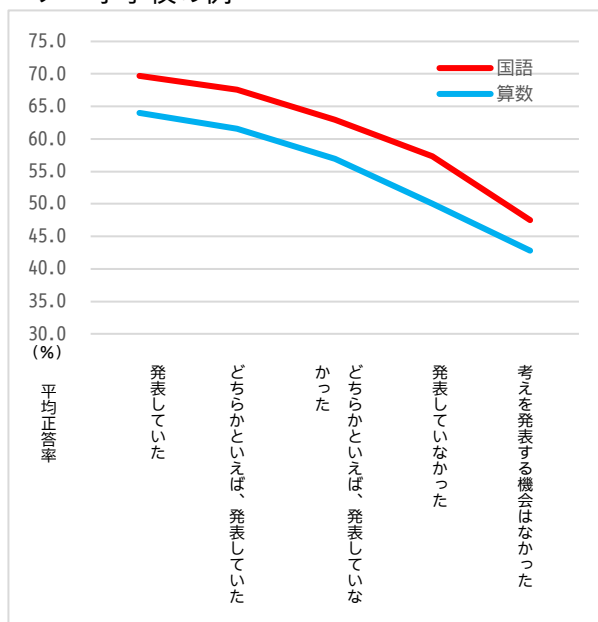
- 学校での生活や学習場面において、一人一人の個性やよさ、成功体験を認めるなどして、自己肯定感を育み、自己有用感を高めていく必要がある。
- 学校、家庭、地域、それぞれ様々な人々との関わりから対人関係などを学び、社会に関心をもって、持続可能な社会の創り手となるための学びを充実させる必要がある。

② 児童生徒質問紙と教科に関する調査結果のクロス集計

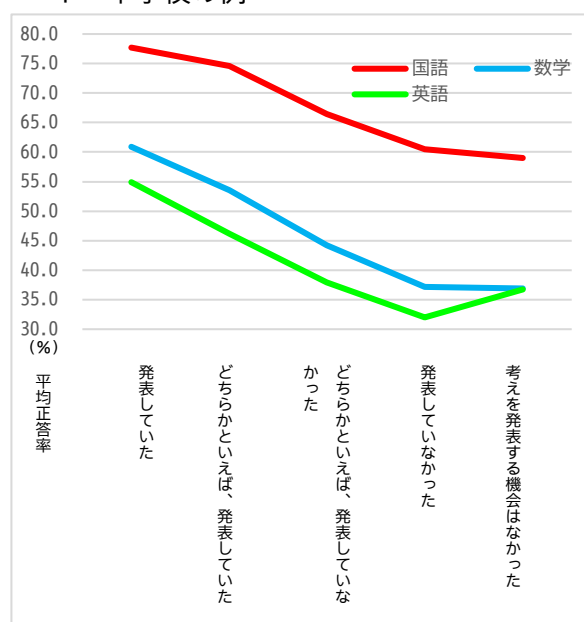
児童生徒質問紙の回答状況と各教科の平均正答率のクロス集計を実施した。縦軸が平均正答率を表している。

質問 小学5年生（中学1・2年生）までに受けた授業で、自分の考えを公表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

ア 小学校の例

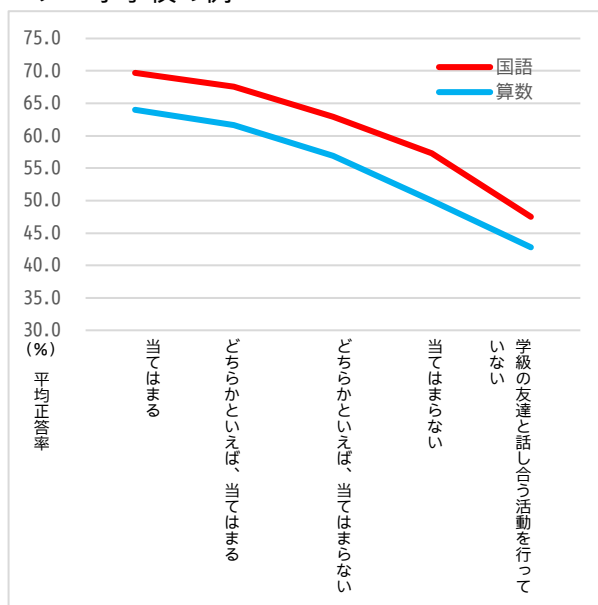


イ 中学校の例

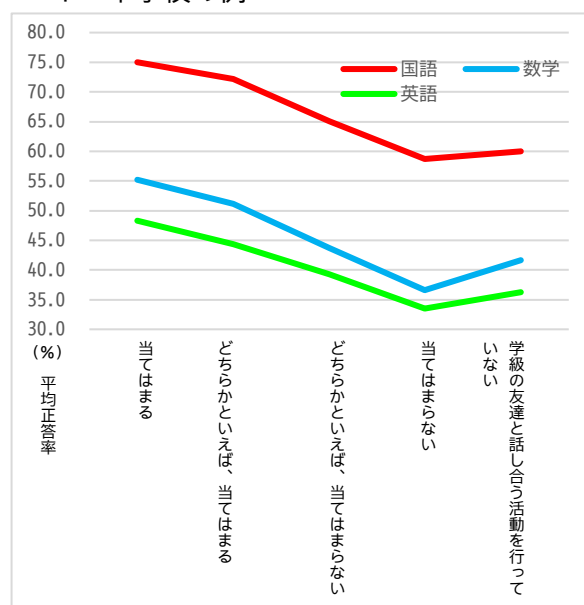


質問 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。

ア 小学校の例



イ 中学校の例



ウ 分析

発表する場において、自分の考えをどのように伝えるか工夫している、また、話し合い活動において自分の考えを深めたり広げたりする児童生徒ほど正答率が高いことから、以下のような学習活動を推進していきます。

- 問題の解答だけでなく、解答を求めるための過程や考え方を、言葉や文章で表現（アウトプット）する学習活動
- 協働的な学びの中で、学習したことや調べたことの根拠等を比較・検討したり、自分と友達の考えの共通点や相違点を比較・検討したりする学習活動

③ 学校質問紙

ア 「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計が90%を上回っている主な項目

質問事項	郡山小	全国小	郡山中	全国中
ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか	100.0	98.3	100.0	97.7
児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	98.1	96.2	100.0	95.2
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか	100.0	98.9	96.3	98.3
教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	96.1	95.9	100.0	91.5
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	98.1	94.3	96.3	94.2
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか	94.1	93.1	96.3	90.9
調査対象学年の児童に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか	94.1	93.1	92.6	92.0
調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	94.1	88.9	92.6	88.0

イ 「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計が全国平均との差が大きい主な項目

質問事項	郡山小	全国小	郡山中	全国中
個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインでの参加を含む）	96.1	84.2	92.6	81.1
前年度までに、近隣等の小(中)学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	76.4	58.2	77.7	67.3
前年度までに、近隣等の小(中)学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	82.4	60.6	70.3	66.8
令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小(中)学校と成果や課題を共有しましたか	80.4	53.6	70.4	54.7

ウ 分析

児童生徒のよさや可能性を積極的に認めて主体性を大切にしていることや、児童生徒の話し合い活動を通して思考を深めている学校が多く、小中連携に取り組んでいる学校の割合が全国平均を大きく上回っていることから、今後も以下のような取組を重視していきます。

- 個別最適な学び方を意識し、児童生徒一人一人のよさを積極的に認め、学習の意義や価値を実感できる評価等の取組
- 協働的な学び方を意識し、答えだけでなく根拠や理由等について様々な考えや意見を比較・検討し、話し合いを通じた学習
- 中学校区をもとにした小中連携による情報共有と実践を通じた9年間の学びの充実

* 文部科学省が公表している資料については、国立教育政策研究所ウェブページをご覧ください。
国立教育政策研究所 『全国学力・学習状況調査』

(URL <https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>)

令和5年度調査

- ▶ 調査質問・正答例・解説資料について
- ▶ 報告書（授業アイデア例含む）・調査結果資料について
- ▶ 授業アイデア例一覧
- ▶ 学習指導の改善・充実に向けた説明会



【個人票のイメージ】

令和5年度全国学力・学習状況調査【中学校】調査結果

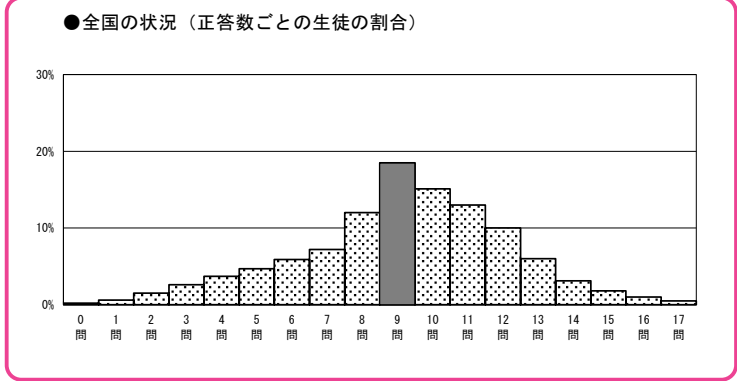
学校名	答案番号	組
□□□□□立◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇学校	9 9 9 9 9 9 9	99

英語

聞くこと・読むこと・書くこと

正答数	99 / 17問
全国の平均正答数	99.9 問

学習指導要領の領域 ※1	正答数	全国の平均正答数
(1) 聞くこと	99 / 6問	99.0 / 6問
(2) 読むこと	99 / 6問	99.0 / 6問
(3) 話すこと [やり取り]	—	—
(4) 話すこと [発表]	—	—
(5) 書くこと	99 / 5問	99.0 / 5問



問題形式	正答数	全国の平均正答数
選択式	99 / 12問	99.0 / 12問
短答式	99 / 3問	99.0 / 3問
記述式	99 / 2問	99.0 / 2問

● 出題内容

英語では、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」によるコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けているかどうかをみる問題を出題しています。

問題番号	問題の内容	結果	全国の正答率 (%)	学習指導要領の領域					問題形式
				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
1	(1) ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する			★					選択
	(2) 道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する			★					選択
	(3) 買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する			★					選択
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する			★					選択
3	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する			★					選択
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する			★					選択
5	(1) ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する				★				選択
	(2) 事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する				★				選択
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する				★				選択
7	(1) 図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する				★				選択
	(2) 図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する				★				選択
8	(1) ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する				★				選択
	(2) ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く							★	記述
9	(1) 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる ①							★	短答
	(1) 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる ②							★	短答
	(2) メール英文を依頼する表現に書き換える							★	短答
10	学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く							★	記述

※ この個人票は、英語の調査結果のうち、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査結果を示したものです。 ○：正答 ×：誤答 -：無解答